

令和2年9月10日

食農学類 尾形慎准教授らの研究グループが 2020年度の日本応用糖質科学会技術開発賞を受賞！

この度、伊藤忠製糖（株）近藤研究員と福島大学尾形准教授、苫小牧高専甲野教授、一関高専戸谷教授、沖縄高専池松教授によって実施された研究が2020年度の日本応用糖質科学会技術開発賞を受賞しました。

本賞は、澱粉を始めとする各種糖質関連産業の技術開発に顕著に貢献した研究者に贈られるもので、尾形准教授らの研究グループが行った「水熱処理黒酵母 β グルカン「KBG」の開発と応用研究」が評価され今回の受賞に至りました。

【受賞概要】

氏名：近藤 修啓（伊藤忠製糖（株）研究開発室）
尾形 慎（福島大学農学群食農学類）
甲野 裕之（苫小牧工業高等専門学校創造工学科）
戸谷 一英（一関工業高等専門学校未来創造工学科）
池松 真也（沖縄工業高等専門学校生物資源工学科）

受賞名：一般社団法人日本応用糖質科学会 技術開発賞

業績名：水熱処理黒酵母 β グルカン「KBG」の開発と応用研究について

【業績の概要】

β グルカンは免疫賦活作用がある機能性素材として注目されています。2016年より伊藤忠製糖（株）を中心とした本研究グループは、特異な水熱処理技術により製造した黒酵母由来水溶性 β グルカン（商品名：クルルの β グル）に関する分子構造、機能性評価、応用についての多角的な研究で実績を上げてきました。また、この研究体制から派生して、同社商品を沖縄高専生がデザインした商品を琉球エアコミューターの機内にて販売しており、売上げの一部を沖縄県のサンゴ礁保全活動に寄付する活動も行っています。このような産学連携の理想的なモデルが評価され、日本応用糖質科学会2020年度大会において技術開発賞を受賞致しました。

【日本応用糖質科学会について】

日本応用糖質科学会は、澱粉を始めとする各種糖質科学及び関連する酵素科学の進歩を図り、科学、技術並びに関連産業の発展に寄与することを目的として、1952年に澱粉工業会として創立されて以来、1972年には日本澱粉工業会、1993年には日本応用糖質科学会と改称して現在に至っています。

(お問い合わせ先)

食農学類准教授 おがた まこと 尾形 慎

電話：024-503-4982

メール：ogata@agri.fukushima-u.ac.jp